

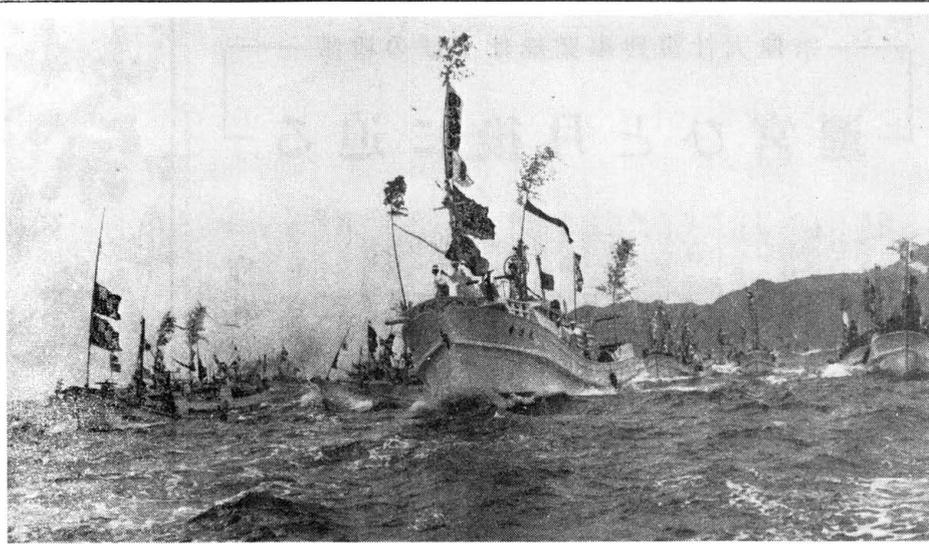
新たなる佇いでの最初の 秋季大祭最高の人出を記録

海上神幸に四百隻の供奉船

去る九月十日より十三日まで、恒例の宗像大社秋季大祭が盛大かつ隆に進行された。本年度の秋季大祭は、宗像大社復興事業がほぼ完了した神域における初めての最大祭であったため、諸準備も極めて周到なものであり、大祭は最高の人出を記録した。

九月十日、秋季大祭神幸打は、九月十日と決定し、例年通り、同日午後七時、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。

また十三日は総代会が開かれ



玄海の風雨をついての海上神幸

辺津宮様は一日、中津宮より海上神幸をおこし、中津宮、中津宮神聖の出陣祭が厳かに進行され、神聖は台台に奉安され、御座船の奉仕員がこれを担ぎ中津宮を出発、大島波止場にお待たせの御座船に奉安され、午後九時半、雨は一時小降りとなった。先導船が御座船の前面を

御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。



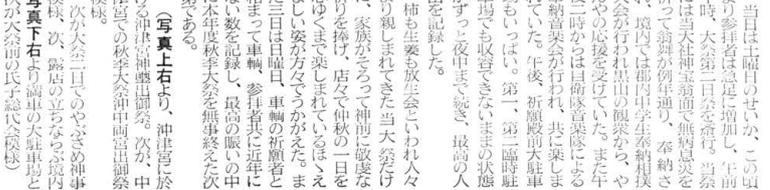
首をかえ神湊を目指した。雨が激しくなると、大島待待機していた七浦の御座船四百隻のエンジンがはげしく回転を始めた。先導船、御座船、供奉船の眼波が舞うようにして、大島波止場を島方面に船首を向けるようすが、大いなる勢いで上下の動きが、一年一度の宗像大祭の勇姿である。その昔、宗像の神を中心に、致し、宗像の意気が想像される。三百余隻の船は前後左右をきりきりつめて、大船団となり、玄海を進行した。



御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。

御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。

御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。



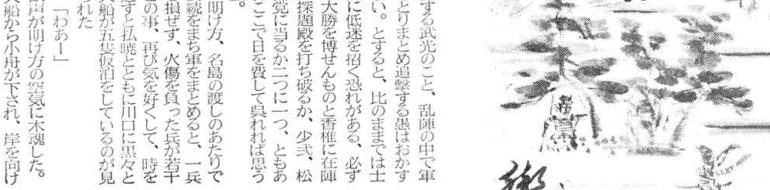
御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。



御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。



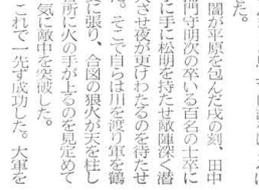
御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。



御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。



御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。



御三宮にお入りになり、宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。

この日の打ちと
神湊

(17)

楠 早鳥作
福田 長庵画

宗像放生会模様

当日は土曜日のせい、この頃より参拝者は急増し、午前十時、大祭第一日会を斎行、宗像には宗像大社復興委員会の奉仕のもとに、長岡専務、水難救済会所長等、執行されることとなった。其の交通整理、参拝者輸送、保健衛生の出陣にも行われ、本年は退後、当儀は打合せ通り行われ、等々が宗像、西鉄、宗像健康祭を行って種々熱心検討され、入御され、大祭をまっぴらりとなられた。

宗像大社歌会

俳句作品集(二〇〇)

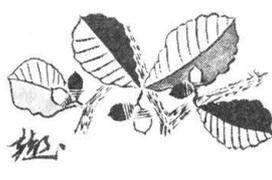
田熊 安部 ユキ
娘も夏に二児の母貸いとほしく
東郷 有吉 春子
雨たれ乱れ太鼓や昼寝のめ

秋葉や山嵐をくし伊那の町
福岡 入江 柳江
秋葉にさらけたいハイヤウ蝶恋す
津屋崎 井浦 良介
軍国遺跡の背後の母をへて

東 京 小浦 濠介
綱や流巻の高低がかり
津屋崎 菱花 女
みたけの水澄むにり鯛雲

大井 吉田ますみ
岐草提燈のてのうといかな
田熊 小野 角次郎
露しき草の瑠璃光乎ぞく

田熊 小野がをる
松の月宵の躑躅にぞやかに
玄海 有吉 唐水
対馬路や百合の花咲時へく

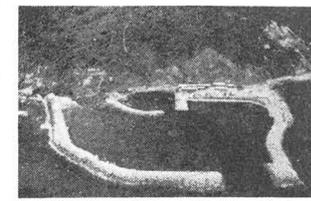


宗像神社沖津宮祭祀遺跡

昭和四十四年度調査報告

4 沖ノ島、出漁季節
(船は4尺型)
秋・冬 十月一日一〇〇
日位 乗員名 釣及立網漁
(春・夏) 二月六日一〇〇
日位 乗員名 釣及立網漁

Table with columns: 船種, 年, 代, 動, 力, 速, 力, 大, き, さ. Rows include 和船, 機船, 大正末まで, etc.



祭祀遺跡の調査
1. 調査地域の選定
昭和四十四年四月及び五月の綿

ノ島は小島に激突し、よく
わて出航したが、虚殿の八港に
た。
このように大正末・昭和初期に
船が激突したとしても、沖ノ島へ
の渡海は困難であり、自らの進歩
した船舶でも、少し風が吹き寄せ

沖ノ島

昭和二年春
河野源一氏は
磁石式大型漁船
の儀の船に乗り

河野源一氏は
磁石式大型漁船
の儀の船に乗り
昭和二年春
河野源一氏は
磁石式大型漁船
の儀の船に乗り

対馬に方向をとり、沖ノ島
又山口置七重組の朝日は大島
へ帰る際、網が推進器(プロペラ)
に巻きつき、動かなくなると、沖

出佐三問一答シリーズ

働く人の資本主義

「あなたがたはなんのために働
くのか」と問う。
「資本主義の社会で働く人は、
労働者として、資本主義の社会で

「あなたがたはなんのために働
くのか」と問う。
「資本主義の社会で働く人は、
労働者として、資本主義の社会で



働く人の資本主義

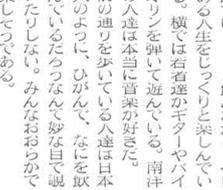
「あなたがたはなんのために働
くのか」と問う。
「資本主義の社会で働く人は、
労働者として、資本主義の社会で

宗像庵庵先生百話

南方華なりし頃

熱帯の生命は日没頃から運動し始
める。灼熱の太陽が沈み、二
十時頃までには涼しい風が吹く

熱帯の生命は日没頃から運動し始
める。灼熱の太陽が沈み、二
十時頃までには涼しい風が吹く



魚

熱帯の生命は日没頃から運動し始
める。灼熱の太陽が沈み、二
十時頃までには涼しい風が吹く